

## 新規高等学校・特別支援学校卒業予定者の雇用確保について（お願い）

兵庫県、兵庫県教育委員会及び兵庫労働局の行政運営につきましては、平素から格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の景気動向については、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに拡大しており、雇用の面においても有効求人倍率、新規求人数とも高い水準となっています。

一方で、将来を担う新規高等学校・特別支援学校卒業予定者の雇用につきましては、就職を希望する者が希望する職に就けるよう積極的に支援する必要があると、下記のとおり、来春の採用の確保に向けた会員企業の皆様への働きかけにつきまして、格別の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

本県における本年3月の新規高等学校卒業者の就職率（3月末現在）は過去最高の99.2%でした。求人数は16,328人と、昨年度を上回ったものの、一部の職種について、求人・求職のミスマッチがみられました。

さらに、来春の県内企業の新規高等学校・特別支援学校卒業予定者の採用見込みについては、増加傾向が続く見込みですが、生徒の希望職種とのマッチングを適切に推進していくことが求められています。

また、障害者を取り巻く雇用状況につきましては、障害者の就職意識の向上に伴い就職希望者が増加しているところであり、事業主の皆様は、障害者雇用に対する御理解と御尽力により、平成30年度（平成30年6月1日現在）の県内の障害者雇用数は、前年より1,103.0人増と、15年連続で増加し、障害者の就職件数も9年連続で過去最高を更新しました。しかしながら、本県の特別支援学校卒業者に占める就職者の割合は、平成26年度以降上昇が続いているものの、全国的に見て低い状況であり、引き続き就職支援への対応を強化しているところです。

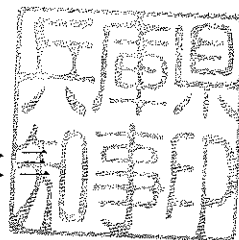
新規学校卒業予定者にとって、社会人としての第一歩である就職が未決定のまま卒業を迎えるということは、就業によるキャリア形成ができないばかりか、我が国や兵庫県にとっても産業や社会を支える人材の育成・確保が図られないことにつながり、憂慮されることです。

貴団体におかれましては、インターンシップや職場実習等による受入れなどを通じて、引き続き一人でも多くの新規高等学校・特別支援学校卒業予定者を採用していただきますよう、より一層の働きかけをお願いいたします。

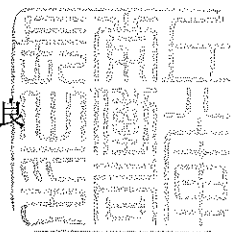
令和元年6月20日

一般社団法人 神戸貿易協会  
会長 長田 庄太郎 様

兵庫県知事 井戸 敏



兵庫労働局長 畑中 啓良



兵庫県教育長 西上 三鶴

